



30 フォーク用ステアリングキット 取扱説明書

商品番号：06-01-070

適応車種：モンキー・ゴリラ

車体番号：Z50J-1300017~

正しく安全にご使用頂くために

- ・この度はタケガワ製品をお買い上げ頂きまして有難うございます。
ご使用になられる前にこの説明書をよくお読み下さい。
- ・取り付け前には、必ずセット内容をお確かめ下さい。万一、お気付きの点がございましたら、お買い求め頂いた販売店にご相談下さい。
- ・このキットは、NSR50/80用左右フロントフォーク、フロントキャリパー、フロントブレーキディスク、フロントホイールアクスル、アクスルナットの純正部品が必要です。
- ・このキットを取り付けるには、当社10インチアルミホイール、16CMロングスイングアーム、330MMリヤショックの同時装着が必要です。
- ・フロントフェンダーは、当社別売の09-09-01(FRP)又は、09-09-11(CFRP)をご使用下さい。他のフェンダーの使用は出来ませんのでご注意下さい。
- ・スピードメーターギヤボックスは、10インチ用09-01-031をご使用下さい。
- ・ヘッドライト及び、スピードメーター/タコメーターは、倒立フロントフォーク用ヘッドライトキット09-03-07、スピードメーター/タコメーターキット09-01-192(機械式レギュラーヘッドユニット付)・09-01-193(機械式スーパーヘッドユニット付)・09-01-194(機械式ユニット無し)・09-01-191(12V電気式)の使用が可能です。
- ・フロントブレーキディスクは、220フローティングディスク06-01-021の使用が可能です。
- ・フロントマスターシリンダー及びブレーキホースは、別売のフロントマスターシリンダー06-08-111, フロントブレーキホースセット06-08-18が使用可能です。NSR50/80用マスターシリンダーをご使用の場合は、当社ブレーキホースセットでは、パンジョーのねじり角が異なる為、取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ・この説明書は、フロントフォーク、トップブリッジ、及びその関連部品を取り外した状態での説明になります。分解作業は、必ずホンダサービスマニュアル・モンキー・ゴリラ用を参照し、確実に行ってください。又、ブレーキ関係、ブレーキのエア抜き作業は、ホンダサービスマニュアル・NSR50/80用を必ず参照して下さい。

特 徴

モンキー・ゴリラにNSR50/80用のフロントフォークを取り付け出来るキットです。30インナーチューブ使用のフロントフォークとジュラルミン材削り出しのトップブリッジ及びステアリングシステムにより、フロントフォーク回りの剛性をアップさせると共に、220ブレーキディスクにより強力なストッピングパワーが得られます。但し、バネ下重量が増大するというデメリットもあります。

注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・取り付け作業は、必ずエンジン冷間時(35以下)に行ってください。エンジンやマフラーが冷えていまい状態で作業を行った場合、火傷の原因となります。
- ・ボルト、ナットは、必ずトルクレンチを使用し指定トルクで確実に締め付けて下さい。
- ・新製品以外の部品を使用する場合は、必ず取り付け前に点検を行い部品の損傷や摩耗、使用限度以下の場合は、新品と交換して下さい。
- ・ディスクプレートやディスクパッドに油脂類を付着させた場合は、ブレーキ性能が失われますので十分注意して下さい。万一、付着させた場合はディスクプレートを脱脂し、パッドを交換して下さい。
- ・ブレーキオイルはDOT4を使用し、補給時にゴミや水分を混入させないで下さい。ブレーキ性能の低下の原因となります。
- ・走行前には、必ず化首の取り付け状態を点検し、緩み等の異常が無いかを確認して下さい。又、走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～取り付け要領～

1. リヤメンテナンススタンドとエンジン下部に適当な台を置き車両を安定させた状態で作業を行います。



2. ノーマルステムシャフトよりボトムコーンレース、ダストシール、シールワッシャ、ハンドルロックを取り外し、ジュラルミンシステムにそれぞれ組み付けます。



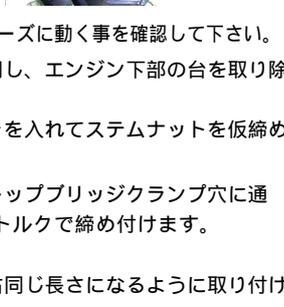
3. トップ及びボトムコーンレースにグリスを十分塗布し、スチールボールを取り付けます。
スチールボールは、取り付け前に洗浄し、ゴミ等を付けない様にして下さい。



4. ジュラルミンシステムをステアリングヘッドに取り付けトップコーンレース、トップスレッドを取り付け、トップスレッドを手で一杯に締め付けます。
ステムを左右に4～5回作動させスチールボールをなじませた後、トップスレッドを指定トルクで締め付けます。
トルク：0.2 kgf・m



5. フロントメンテナンススタンドを使用し、エンジン下部の台を取り除きます。
トップブリッジを取り付け、ワッシャを入れてステムナットを仮締めします。
6. 左右フロントフォークを、ステムとトップブリッジクランプ穴に通し、ステムの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：2.7 kgf・m



7. ステムナットを指定トルクで締め付けます。
トルク：6.0 kgf・m



8. トップブリッジ割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：2.6 kgf・m



9. 10インチアルミホイールに、フロントホイールハブをアルミホイールに付属のフランジキャップスクリューで仮締めします。
アルミホイールの組み付けは、アルミホイールの説明書を参照して下さい。

10. フロントホイールハブにディスクローターを付属のディスクボルトで取り付けボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：4.0 kgf・m



11. フロントホイールハブにサイドカラーとスピードメーターギヤボックスをセットし、フロントフォークに取り付けアクスルナットを指定トルクで締め付けます。
トルク：6.0 kgf・m



サイドカラーは、径の小さい方をハブ側に向けて取り付けして下さい。アクスルナット締め付け前にスピードメーターギヤボックスの位置調整を行って下さい。

12. フロントフォークにキャリパーを取り付け、ボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：2.7 kgf・m



キャリパー取り付け時、キャリパーとホイールが干渉しますので、ホイールと干渉しなくなるまで取り付けボルトを緩めて下さい。ホイール取り付けボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：3.0 kgf・m

13. フロントフェンダーステーとボトムケースの間にカラーを入れ、ボタンヘッドスクリュー6×15で取り付け、スクリューを指定トルクで締め付けます。
トルク：1.0 kgf・m

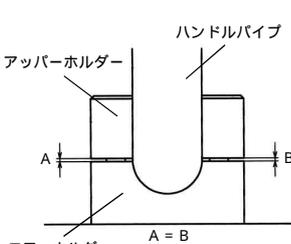


14. オプションのフロントフェンダーをフェンダーステーの間にセットします。
ボタンヘッドスクリュー6×10を、フェンダーステーに差し込み、フェンダー裏側にプレーンワッシャ、6角ナットで取り付けます。6角ナットをスパナで固定し、スクリューを指定トルクで締め付けます。
トルク：0.8 kgf・m



フロントフェンダー取り付けは、フェンダーの説明書を参照して下さい。

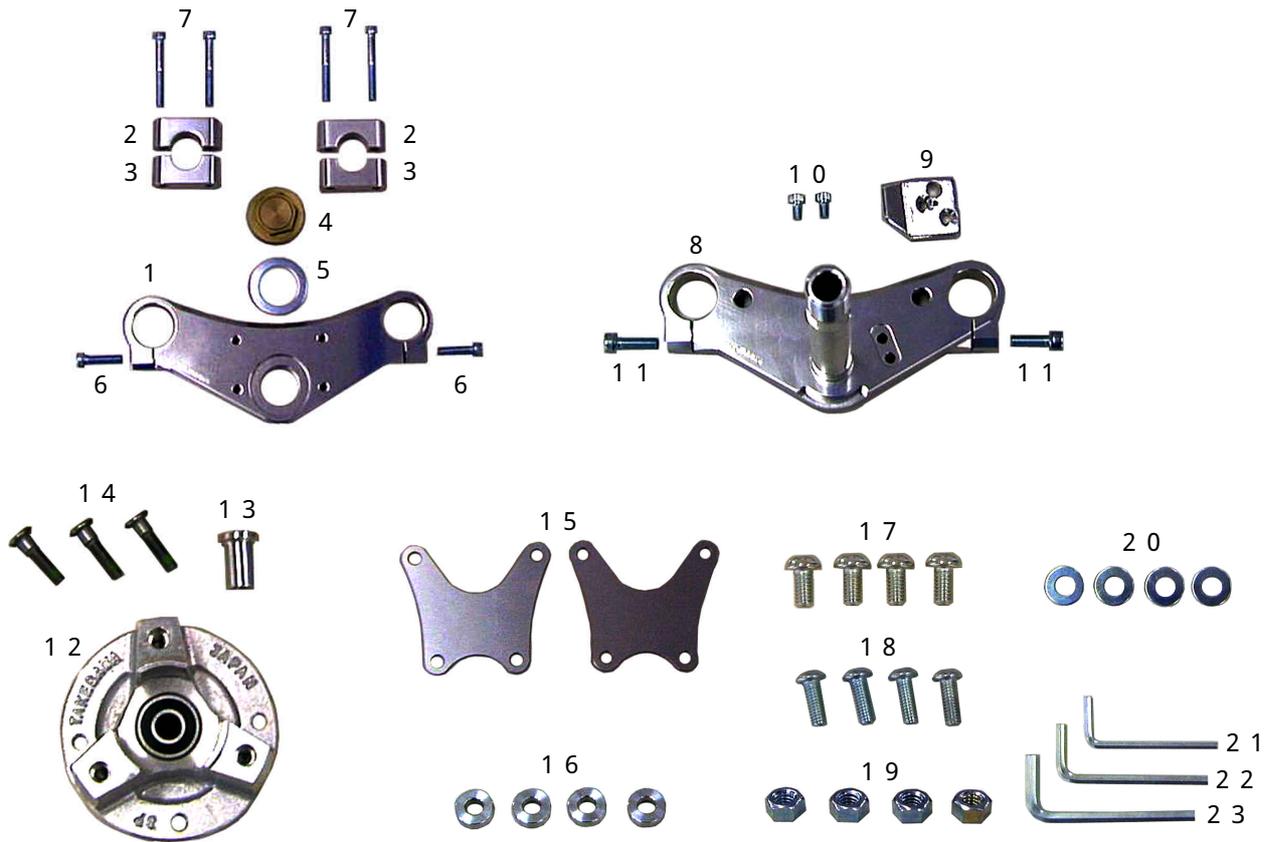
15. オプションのステアリングハンドルパイプを、ハンドルホルダーにセットし、トップブリッジに取り付けます。ハンドルホルダーのソケットキャップスクリューを指定トルクで締め付けます。
トルク：1.2 kgf・m



ハンドルホルダーは前後のすき間が同じになる様に締め付けて下さい。

他の部品は、商品添付の取り扱い説明書を参照し組み付けて下さい。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	番号	部 品 名	個数
1	フォークトップブリッジ	1	13	フロントホイールサイドカラー	1
2	ハンドルアッパーホルダー	2	14	フロントディスクボルト 8×24	3
3	ハンドルローアホルダー	2	15	フロントフェンダーステー	2
4	ステムナット	1	16	フェンダーステーカラー	4
5	ステムナットワッシャ	1	17	ボタンヘッドスクリュー 6×10	4
6	ソケットキャップスクリュー 6×25	2	18	ボタンヘッドスクリュー 6×15	4
7	ソケットキャップスクリュー 6×50	4	19	六角ナット 6mm	4
8	ステアリングステムCOMP.	1	20	プレーンワッシャ	4
9	ステアリングロックブラケット	1	21	六角棒スパナ 4mm	1
10	ソケットキャップスクリュー 6×12	2	22	六角棒スパナ 5mm	1
11	ソケットキャップスクリュー 8×30	2	23	六角棒スパナ 6mm	1
12	フロントホイールハブCOMP.	1			

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>

ブレーキのエア抜き要領

⚠ 注意

ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
 シーリングワッシャは再使用しない事。
 ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
 ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
 規定トルクは必ず守る事。
 ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

マスターシリンダーASSYの2本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



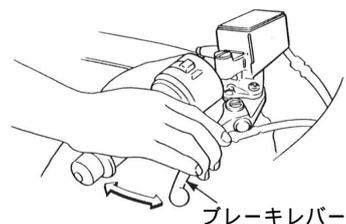
マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.

ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。
 オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



⚠ 警告

ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

ブレーキレバーを握った状態のままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。
 ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。



ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付けます。

ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで、この操作を繰り返します。

時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

エアーの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



⚠ 注意: 必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。

⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.

